

# 電気手術器仕様書

## 電気手術器 1式

### I 機器構成

- 1 電気手術器本体 1台
- 2 2ペダルフットスイッチ 1個
- 3 1ペダルフットスイッチ 1個
- 4 コンパクト架台 1台
- 5 アルゴンガス供給装置 1個
- 6 プレッシャーレギュレーター 1個
- 7 アルゴンガスボンベ シームレス容器 2本

### II 主な仕様

- 1 止血性能が強化された切開モード「ドライカット」を標準化していること。
- 2 切開・凝固の再現性を高めるためスパークを制御すること。
- 3 脂肪や水中でのスムーズな切開を実現するため電弧を制御すること。
- 4 乾燥凝固を行うため出力を制御すること。
- 5 状況に応じた適切な高周波電流の投与が可能であること。
- 6 貼付部位の接触抵抗・電流密度・貼付方向を監視し、患者に貼付した対極板の接触状態をグラフィックで表示すること。
- 7 使用する器具やフットスイッチを変更して別のモードを作動させると自動的に画面が切り替わること。
- 8 アルゴンプラズマ凝固用ハンドルやスリムラインハンドスイッチ、バイポーラフォーセプスなどのアクセサリはオートクレーブ滅菌による再使用が可能であること。
- 9 組織の熱損傷を減少させるため、組織の状態やメス先の動きに合わせて出力を自動的に調整すること。
- 10 切開については、オートカット、ハイカット、ドライカット、エンドカット I・Q及びバイポーラカット機能を有していること。
- 11 凝固については、ソフト凝固、クラシック凝固、スイフト凝固、フォースド凝固、スプレー凝固、ツイン凝固、バイポーラソフト凝固及びアルゴンプラズマ凝固モードを有していること。
- 12 本体寸法は、410mm (W) × 380mm (D) × 165mm (H) 程度であること。
- 13 本体重量は、8.8kg 程度であること。

※なお、当該仕様書と同等の機能を有していることが確認できた場合は、仕様条件を満たしているかの可否について、総合的に判断する。